

## 目次

12年第3四半期 動画サイトの広告売上78%増 .....	2
12年第3四半期インターネットバンキング取引額262.21兆元.....	2
12年第3四半期B2B市場 売上34.5億元.....	3
12年第3四半期B2B市場 売上トップは阿里巴巴.....	3
12年上半期のB2C市場 売上1811億元.....	4
12年第3四半期 スマートフォン販売台数4917万台.....	4
スマホ市場 Android端末のシェア90.1%に上昇.....	5
12年第3四半期(7-9月) モバイルゲーム売上13.4億元.....	6
モバイルゲーム市場 騰訊がトップ独走.....	6
クライアント型ゲーム 市場集中度がさらに上昇.....	7
12年第3四半期 IMアクティブユーザー4.8億人.....	7
携帯電話向けセキュリティ製品 利用者2.98億人.....	8

易観国際 中国 IT マンスリーニュースは易観国際のアナリストによる中国のIT業界に関するレポートを日本語化して配信しています。易観国際は中国におけるIT業界の最大規模の専門家チームとして、多くの中国企業・外資企業のコンサルティングや調査プロジェクトに携わっており、中国のIT動向について幅広く研究・分析を続けています。クララオンラインは日本における易観国際の独占的なパートナーとして、日本語での最新の中国の情報をご提供し、皆様の中国における活動をサポートします。

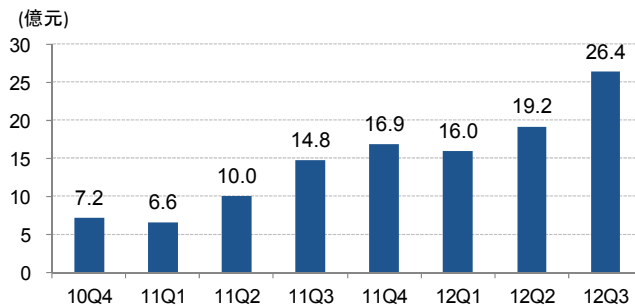
- 本レポートは、易観国際及び易観国際グループ各社(以下「易観国際」といいます)発行のニュースを、易観国際からの許諾に基づき、易観国際の日本における独占的な総代理店である株式会社クララオンライン(以下「クララオンライン」といいます)が日本語に翻訳したものです。本レポートに掲載された内容は発行時における易観国際の見解や予測を紹介するもので、予告なしに変更することがあります。易観国際及びクララオンラインはここに記載された情報が十分信頼に足るものと考えていますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 日本語版の本レポートのいかなる部分について、クララオンラインの書面による事前の了解なく複製、再生、再発行、販売、配布、送信、回付、修正、表示したり、またいかなる目的でも使用したりすることはできません。これには二次的著作物を作成する際に本レポートを利用する場合も含まれますが、これに限定されるものではありません。クララオンラインの許可を事前に申請する際には <https://www.eguan.jp/contact> からご連絡ください。
- 本レポートでは中国とは中華人民共和国を指しており、台湾、香港特別行政区、マカオ特別行政区は含んでいません。
- 本レポートに含まれる情報は一般的なご案内であり、包括的な内容であることを目的しておりません。また法律・条令の適用と影響は、具体的な状況によって大きく変化いたします。具体的な事業展開にあたってはクララオンラインコンサルティングサービスチームより御社の状況に特化したアドバイスをお求めになることをおすすめいたします

本レポートはクララオンラインコンサルティングサービスチームにより翻訳されたものです。クララオンラインの中国インターネットコンサルティングサービスに関するお問い合わせは以下の連絡先までお気軽にご連絡ください。  
asia@clara.ad.jp または +81(3)6704-0776

## 12年第3四半期 動画サイトの広告売上 78%増

易観智库がこのほど発表した「2012年第3四半期(7-9月)中国動画市場季度監測」によれば、動画共有サイトの広告売上は26.4億元で、前年同期に比べ77.9%増加した。

10Q4-12Q3動画共有サイト 広告売上額



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

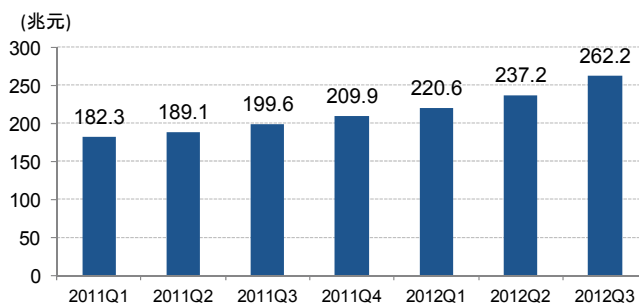
広告売上は今年第1四半期(1-3月)にいったん落ち込んだが徐々に持ち直し、第3四半期には前年同期比77.9%増にまで回復した。易観智库の分析では、今期は夏季五輪といった大きなイベントがあったことから広告出稿が増えたようだ。また多くの動画共有サイトが、イベントに乗じて様々なオリジナルコンテンツや特集ページなどを用意して視聴者を集めたことも、積極的な広告出稿につながった。

(易観国際アナリスト：張颯)

## 12年第3四半期インターネットバンキング取引額 262.21兆元

易観智库がこのほど発表した「2012年第3四半期(7-9月)インターネットバンキング市場業界データベース」によれば、インターネットバンキングの取引額は262.21兆元で、前期に比べ10.5%、前年同期に比べ31.4%それぞれ増加した。

11Q1-12Q3 インターネットバンキング取引額



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

今年第2四半期(4-6月)に比べるとインターネットバンキング市場全体が活性化した。インターネットバンキングの利用を促すため、利用回数に応じた記念品のプレゼントを行ったり、ネットショップと共同で割引キャンペーンが展開されたほか、企業の利用を拡大するため、大幅な手数料の引き下げをアピールする金融機関もあった。

一方、類似の業務を行う決済代行サービス市場も急速な拡大を続けており、次々とリリースされる新サービスやすぐれたユーザー体験は、インターネットバンキングを上回る評価

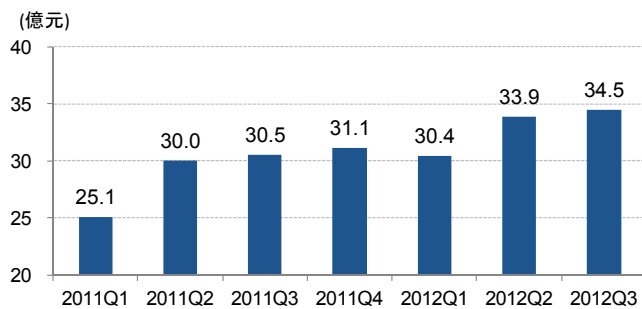
を得ている。この強力なライバルに打ち勝つには、様々な生活サービスにおけるインターネットバンキングの利便性をいっそう高めていく必要があるようだ。

(易觀國際アナリスト：陽驍)

## 12年第3四半期 B2B 市場 売上 34.5 億元

易觀智库がこのほど発表した「2012年第3四半期（7-9月）B2B市場季度監測報告」によれば、B2B市場全体の売上は34.5億元で、前期比1.8%、前年同期比13%それぞれ増加した。

11Q1-12Q3中国B2B市場 売上額



Source: EnfoDesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfoDesk.com

税関のまとめによると、今年第3四半期の輸出入額は1兆29億ドルで、前期比2.27%、前年同期比3.0%それぞれ増加した。例年であれば第3四半期は輸出のハイシーズンに当たるが、今年は海外の経済環境がおもわしくなく欧米からの注文が大幅に減ったことから、小幅な伸びにとどまった。そのため、貿易を中心とする中国のB2B市場も振るわなかったようだ。

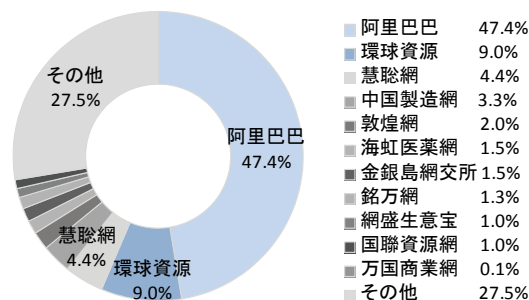
一方の国内貿易市場は、引き続き好調な成長を維持した。B2B2Cというルートが確立したことで、ネットショッピング市場が国内貿易を中心とするB2Bの需要をけん引している。

(易觀國際アナリスト：陽驍)

## 12年第3四半期 B2B 市場 売上トップは阿里巴巴

易觀智库がこのほど発表した「2012年第3四半期（7-9月）B2B市場季度監測報告」によれば、売上に基づく市場シェアトップは阿里巴巴で47.4%、続いて環球資源が9.0%、慧聪网が4.4%と続いた。

12Q3中国B2B市場 売上額シェア



Source: EnfoDesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfoDesk.com

阿里巴巴は第3四半期に体制の見直しを行い、元のB2B子会社を国際事業グループと中小企業事業グループに分割した。さらに「大阿里戦略」を進めるため、B2BとB2Cの融合を強化しており、淘宝の出店者向けのキャンペーンも展開している。

敦煌網は、海外からの買い付けを狙ったクリスマス大セールを行っており、網盛生意宝はB2B向け決済サービス「生意通」の研究開発に資金を投入した模様だ。一方で今年第3四半期は海外貿易の環境が思わしくなかったことから、欧米との海外貿易をメインとする環球資源網は伸び悩んだ。

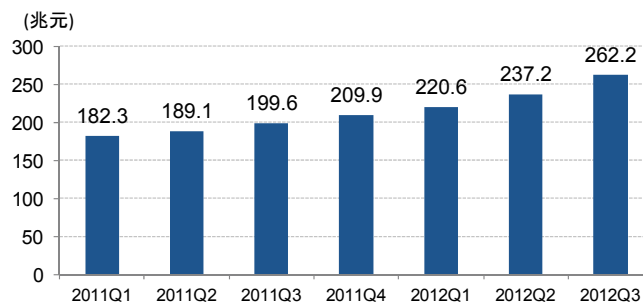
(易觀國際アナリスト: 陽驍)

## 12年上半期のB2C市場 売上1811億元

易觀智库がこのほど発表した「中国B2C競争力研究報告2012」によれば、今年上半期(1-6月)のB2C市場の売上は1811億元に達した。

このうち3C製品(デジタル、コンピューター、家電)の売上が582億元、その他の商品が1229億元だった。3C製品の売上上位3サイトは京東商城、蘇寧易購、庫巴で、家電量販店が運営するサイトが強さを見せた。一方、3C製品以外の商品の売上上位3サイトは、京東商城、凡客誠品、当当だった。

11Q1-12Q3 インターネットバンキング取引額



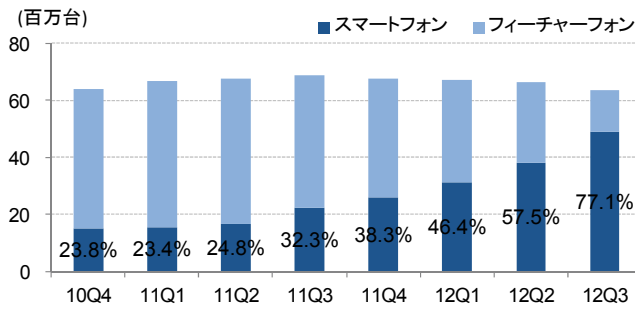
Source: Enfodesk, Analysys International - [www.eguan.cn](http://www.eguan.cn) / [www.enfodesk.com](http://www.enfodesk.com)

アパレルや書籍とともにB2C市場が成熟しているベビー・マタニティ用品では、天猫商城が売上20億元で2位以下に圧倒的な差をつけた。3位の当時は、サービス開始当初に学生だったユーザーがちょうど子供を持つ年齢に達したことから、ベビー・マタニティ用品の販売が急増しているという。

## 12年第3四半期 スマートフォン販売台数4917万台

易觀智库がこのほど発表した「2012年第3四半期(7-9月)中国携帯電話端末市場監測報告」によれば、密輸入品や模倣品を除く携帯電話端末の販売台数は6373万台で、前期比4.1%、前年同期比7.5%それぞれ減少した。

### 12Q3携帯電話端末販売比率



Source: EnfoDesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfoDesk.com

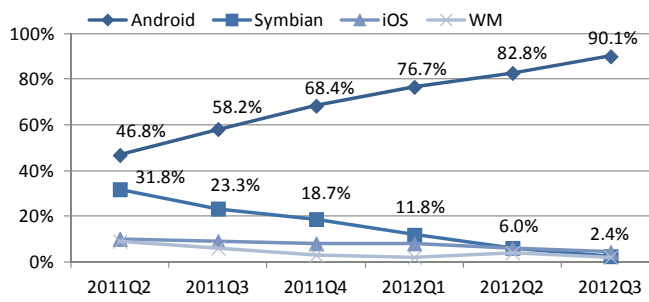
このうちスマートフォン端末は 4917 万台で、前期比 28.7%、前年同期比 121%それぞれ増加した。スマートフォンが占める割合は全体の 77.1%に急増しているが、すでに北京や上海では買い替えのピークが過ぎており、現在は地方の大都市でスマートフォンの普及が進んでいる。

(易観国際アナリスト: 李艶艶)

## スマホ市場 Android 端末のシェア 90.1%に上昇

易観智库がこのほど発表した「2012年第3四半期(7-9月)中国携帯電話端末市場監測報告」によれば、スマートフォン市場における Android 端末のシェアは 90.1%で、前期に比べ 7.3ポイント上昇した。Symbian 端末は前期よりさらに落ち込み 2.4%となった。iOS も前期の 6%から 4.2%まで落ち込んでいる。

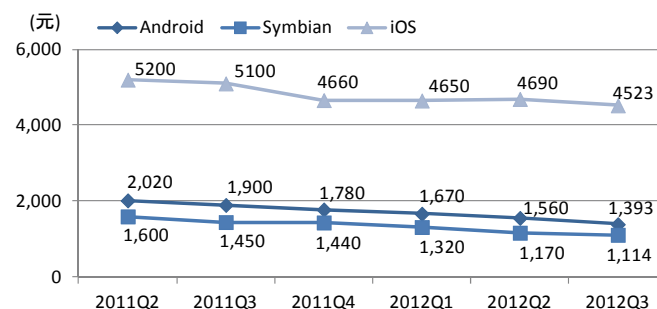
### 11Q2-12Q3 スマートフォンOS市場シェア



Source: EnfoDesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfoDesk.com

各端末の平均価格は、Android 端末が前期の 1560 元から引き続き値下がりし 1393 元となったほか、Symbian 端末も前期の 1170 元から 1114 元に値下がりした。iOS は 4690 元からわずかに値下がりし 4523 元となっている。

### 11Q2-12Q3 OS別端末平均価格

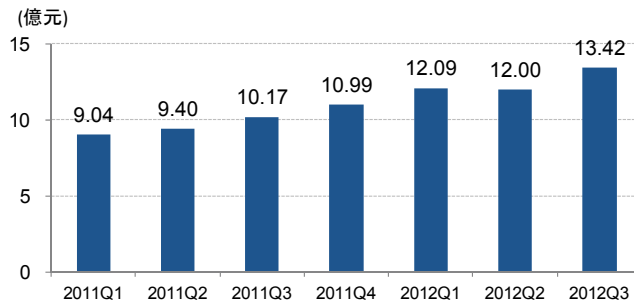


Source: EnfoDesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfoDesk.com

## 12年第3四半期（7-9月）モバイルゲーム売上 13.4 億元

易観智库がこのほど発表した「2012年第3四半期（7-9月）国内モバイルゲーム市場季度監測」によれば、モバイルゲーム市場はさらに拡大し、売上は前期比 11.8%増の 13.42 億元に達したことがわかった。

11Q1-11Q3モバイルゲーム市場 売上



Source: Enfodesk, Analysys International - [www.eguan.cn/](http://www.eguan.cn/) / [www.enfodesk.com](http://www.enfodesk.com)

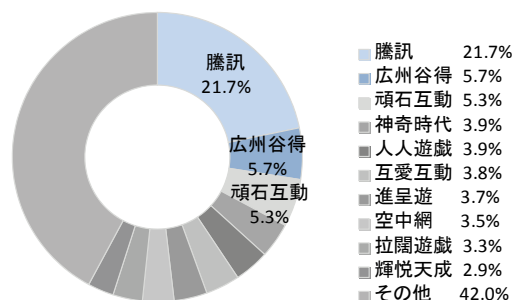
最近では「1000 元スマートフォン」と呼ばれる安価な端末の普及が、モバイルゲームユーザーのすそ野を広げている。さらに Windows8 のリリースで、今後はタブレット PC 市場の爆発的な成長が期待される。

(易観国際アナリスト: 薛永鋒)

## モバイルゲーム市場 騰訊がトップ独走

易観智库がこのほど発表した「2012年第3四半期（7-9月）国内モバイルゲーム市場季度監測」によれば、モバイルゲーム市場全体の売上は前期比 11.8%増の 13.42 億元で、このうちゲーム中に通信を伴うモバイルオンラインゲームの売上は同 18.5%増の 5.29 億元を占めた。

12Q3モバイルゲーム市場 売上シェア



Source: Enfodesk, Analysys International - [www.eguan.cn/](http://www.eguan.cn/) / [www.enfodesk.com](http://www.enfodesk.com)

売上規模で市場の 21.7%を占めた騰訊は、ユーザー数とブランド認知度で圧倒的に優位な状況で、人気ゲームの「QQ 御剣」、「QQ 降龍」を中心に、今後もシェア拡大が期待される。このほか、新興勢力とされる広州谷得の「世界 OL」は複数のプラットフォームで人気を博しており、iOS 向けでは頑石互動の「二戦風雲」が国産ゲームとして快進撃を続けている。

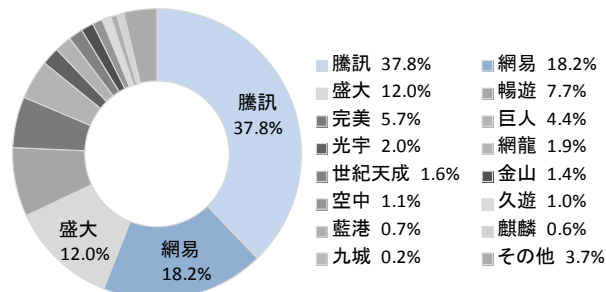
一方で売上トップ 10 社の市場シェアは 60%ほどにとどまっており、騰訊を除いて売上の小さなゲーム会社が乱立する状況となっている。モバイルゲーム市場はまだ発展の初期段階にあり、今後も市場全体の育成が必要となるだろう。

(易觀國際アナリスト: 薛永鋒)

## クライアント型ゲーム 市場集中度がさらに上昇

易觀智库がこのほど発表した「2012年第3四半期(7-9月)中国クライアント型ゲーム市場 季度監測」によれば、今年第3四半期の売上は 116.7 億元だった。上位 3 社が売上全体の 67.9%、上位 6 社では 85.8%を占めており、市場の集中度はさらに高まっていることが明らかになった。

12Q3クライアント型ゲーム市場 売上シェア



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

クライアント型ゲーム市場は、今年に入って成長スピードが鈍化していることから、各社は新作タイトルのリリースを積極的に行ったほか、バージョンアップのペースを早めたり、ゲーム内のイベントを企画したりと新規ユーザーの獲得に工夫を凝らしたようだ

また売上シェアトップの騰訊は、学生のユーザーが多いことから夏休み期間中に一気に売上を伸ばした。2位の網易は年末にかけて複数のゲームタイトルを順次リリースしており、すでにリリースした MMORPG (大規模多人数同時参加型 オンライン RPG)、横スクロール型のアクションゲーム、DotA 系の対戦ゲームなどの人気上昇に伴って売上を伸ばしている。3位の盛大は、第4四半期(10-12月)に新作のリリースを控えていることや、モバイル向けインタラクティブゲームに主軸を置く計画に転換している最中であることから、クライアント型ゲームの売上が減少している。

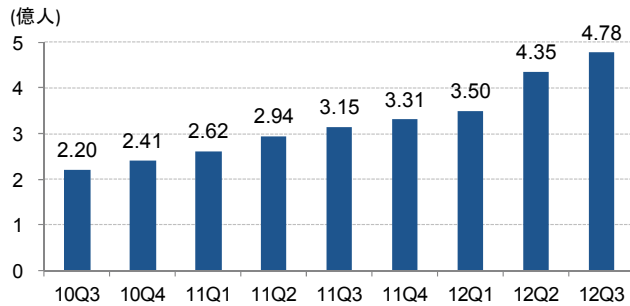
(易觀國際アナリスト: 薛永鋒)

## 12年第3四半期 IM アクティブユーザー4.8億人

易觀智库がこのほど発表した「2012年第3四半期(7-9月)国内モバイル IM 市場 季度監測」によれば、モバイル向け IM(インスタントメッセージ)のアクティブユーザー数は 4.8 億人で、前期に比べ 9.8%、前年同期に比べ 51.6%増加した。



10Q3-12Q3 モバイル向けIMアクティブユーザー数



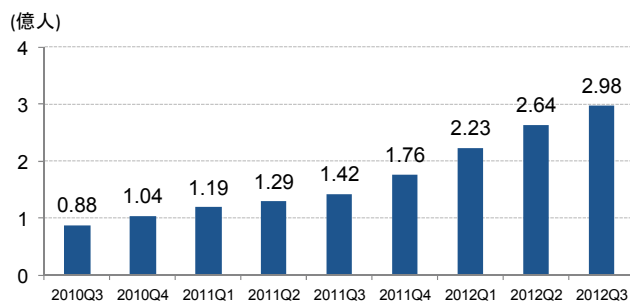
Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

今年第3四半期は、前年同期比で50%を超える大幅な成長となり、わずか3カ月間で約4000万人の新規ユーザーを獲得した。市場は類似サービスによる競争が激化していることから、より良いユーザー体験を与えられるかどうか市場を勝ち抜く鍵になるとみている。

## 携帯電話向けセキュリティ製品 利用者 2.98 億人

易観智库がこのほど発表した「2012年第3四半期(7-9月)中国携帯電話向けセキュリティ市場監視報告」によれば、今年9月末時点の携帯電話向けセキュリティ製品の利用者数は2.98億人だった。前期に比べ13%の成長となった。

10Q3-12Q3携帯電話向けセキュリティ製品利用者数



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

スマートフォンの本格的な普及に加え、モバイル決済サービスの成熟やアプリマーケットの利用増加などにより、携帯電話向けセキュリティ製品に関心を持つユーザーが増えている。モバイルインターネットユーザーへの普及率は63.4%に上るが、今後もAndroid端末の出荷台数が増えることが予想されるため、年内にも70%を突破するとの見方もある。

易観智库は、利用者のセキュリティ製品に対する要望は今後ますます細分化し、モバイル決済サービスのアカウント保護やスマートフォンに保存された個人情報の保護など、利用者のライフスタイルに合うようサービスのカスタマイズを求める声が高まると予想している。

(易観国際アナリスト：劉鵬)